

はらむら



議会だより

第116号

平成26年2月10日発行

発行／長野県諏訪郡

原村議会

編集／議会広報編集委員会

TEL 0266-79-2111

FAX 0266-79-7951

☎ 391-0192



元旦マラソン

- 12月定例会…………… 2
- 委員会報告…………… 4
- 視察報告…………… 6
- 一般質問…………… 8
- 中学生議会…………… 11
- 議会日誌…………… 12



12月定例会

平成25年第4回定例会は12月9日から18日まで、会期10日間で開催された。

平成25年度一般会計補正予算など村長提出議案14件と議員提出議案2件を審議した。

委員会での審査の内容は委員長報告のとおりです。

◎原村監査委員の選任同意

数料。水道料金。など、関係条例の一部を改正するもの。

◎一般会計補正予算(第4号)

(内容) 台風18号による災害復旧費など。

◎原村子ども・子育て会議

(内容) 次世代育成支援法に変わり、子ども・子育て支援法に基づき、設置するもの。

◎消費税法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例

(内容) 消費税法の改正に伴い、関係する使用料・手数料などの改正、見直しをするもの。

◎廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

(内容) 汲み取り料金を値上げするもの。6.25%

有線放送番組複製手数料。役場、小学校、中学校、グラウンド、中央公民館などの使用料。歴史民俗資料館利用料。社会体育館、庭球場使用料。福祉センターホール使用料。

◎後期高齢者医療に関する条例の一部改正

(内容) 延滞金の料率を

下げるもの。

◎下水道条例の一部改正

(内容) 下水道料金を値上げするもの。8.64%

◎一般会計補正予算(第5号)

(内容) 人事異動に伴うもの、中新田北ため池漏水補修、庁舎屋根改修など。

◎原村議会の議決に付すべき事件に関する条例

(内容) 総合計画基本構想に関すること。
姉妹都市などの提携、解消に関すること。

請願・陳情の審議

陳情・請願の審議は次の通りです。

◎私立高校に対する大幅公費助成をお願いする陳情
陳情者 中信地区私学助成推進協議会
会長 中熊 昭一
「不採択とする」

陳情者 信州諏訪農協農政対策協議会
会長 雨宮 勇
「採択とする」

◎TPPをめぐる情勢を踏まえた政府への働きかけに関する意見書の提出を求める陳情

陳情者 長野県平和委員会
代表 永井 光明
他4名
紹介議員 鮫島 和美
「賛成少数で不採択」



原村監査委員
になりました

荒木 桂男さん (柏木)

任期 平成26年1月1日から
平成29年12月31日まで

平成25年第4回定例会 審議結果

表記：○は賛成、×は反対、▽は退席、－は欠席

議案等 番号	議案名等	議員名										審議結果
		小林庄三郎	小池利治	木下貞彦	五味武雄	鮫島和美	矢島昌彦	小池和男	日達徳吉	宮坂早苗	長谷川寛	
《村長提出》												
同意第5号	原村監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
承認第7号	平成25年度一般会計補正予算（第4号）専決処分の承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第46号	消費税法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第47号	原村子ども・子育て会議条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第48号	原村廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第49号	後期高齢者医療に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第50号	農業振興地域整備開発協議会条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第51号	下水道条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第52号	特定環境保全公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第53号	平成25年度一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第54号	国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第55号	国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第56号	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第57号	水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
《議員提出》												
発委第5号	TPPをめぐる情勢を踏まえた政府への働きかけに関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
発委第6号	議会の議決に付すべき事件に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決



中学生議会

委員会報告

総務産業常任委員会

委員長 矢島昌彦

12月定例会では、村長から提出された承認1件、議案3件と請願1件、陳情1件について審査した。

◎専決処分の承認

農業用施設災害復旧費
9月16日台風18号による三ヶ村汐・立場汐等10ヶ所の災害復旧。工事請負費360万円。

◎原村農業振興地域整備

開発協議会条例の一部改正
委員の任期が不明確であったための改正。

◎25年度一般会計補正予算

消費税法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例
消費税法の改正に伴い9つの条例を改正するもの。併せて政策についても見直したもの。
一般会計は納税義務はない。企業会計は申告納税する義務がある。診療所は医師と相談して引き上げしない。介護保険主治医意見書は厚生労働省が定めた額に基づき改正と説明された。

総務費については人事異動、一般職期末・勤労手当1.7%削減等による減額補正。庁舎屋根落雪防止網と凍結防止ヒーター設置工事費340万円等の増額補正。
農林業費では、鳥獣被害対策協議会補助金の40万円増額補正。緩衝帯の整備、わな112ヶ所の管理委託と説明された。
県営干ばつ対策事業、中新田北ため池の漏水防止工事の地元負担金125万

円の増額補正。

陳情・請願の審査

◎集团的自衛権に関する憲法解釈を変更することに反対する請願

○不採択とすべきものと決定する。(賛成1反対3)
憲法9条と前文に反するから、集团的自衛権は権利こそあれ行使できない。違憲と説明された。

反対討論

・集团的自衛権は国連憲章51条で国際的に認められている。尖閣諸島などの情勢から請願に反対。
・戦争はあつてはならない。集团的自衛権は戦争の抑止力になる。
・国はまず国民の生命、財産を守る。世界情勢は大きく変化している。憲法解釈も変える時に来ている。

賛成討論

・自衛権の行使は必要最小限に留めるべきで、憲法解釈を変えるべきではない。

◎TPPをめぐる情勢を踏まえた政府への働きかけに関する意見書の提出を求める陳情
○採択すべきものと決定する。(全会一致)

事務調査

清水村長に出席を求め、樫の木荘検討委員会について調査をした。
・村長から、検討委員会で

はアンケートの結果も加味されるが、検討委員会の結論を尊重しないと検討委員会の意味がない。最終的な結論は検討委員会の結果に基づき村長が出すが、検討委員会の結論と異なる結論にはできない、との説明があつた。
検討委員会には村長も出席し、村長として意見を述べることになる。



新しい団旗

社会文教常任委員会

委員長 宮坂 早苗

25年度一般会計補正予算、条例制定など、9議案と陳情1件について審査した。

◎専決処分の承認

○原案を承認すべきものと決定する。(全会一致)

・9月16日台風18号による災害復旧費。道路4ヶ所、河川3ヶ所。

を検討する。

◎廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

○原案を可決すべきものと決定する。(全会一致)

◎一般会計補正予算

○原案を可決すべきものと決定する。(全会一致)

・交通災害共済費は、今年度より高校生までに対応するシステム改修。
・教育費、ホットサポート支援員1人の退職に伴う補充と、1人の増加分。

・3年ごとに見直しを行うことと、消費税に対応するもの。

◎後期高齢者医療に関する条例の一部改正

○原案を可決すべきものと決定する。(全会一致)

・5月調定額では、8.72%、年間では、8.64%の値上がり。

◎原村子ども・子育て会議条例

○原案を可決すべきものと決定する。(全会一致)

・子ども・子育て支援法第77条において設置努力義務があり、子育てしやすい環境のあり方

・諏訪湖下水道事業負担金の引き上げにより、50円+消費税5%から、53円+消費税8%を見込んだもの。

・審議会の答申で、低所得者対応等で超過料金を5段階から7段階へと分け

た。
今後コンビニ収納も可能。

◎特定環境保全公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正

○原案を可決すべきものと決定する。(全会一致)

・地方税法の改正により、延滞金の割合が引き下げられることによる改正。

◎国民健康保険事業勘定特別会計補正予算

○原案を可決すべきものと決定する。(全会一致)

・退職被保険者等高額療養費100万円の不足が見込まれるため。総額の変更はない。

◎国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算

○原案を可決すべきものと決定する。(全会一致)

・退職に伴う臨時職員分。

◎後期高齢者医療特別会計補正予算

○原案を可決すべきものと決定する。(全会一致)

への納付金を現在の見込み額にするため。

◎水道事業会計補正予算

○原案を可決すべきものと決定する。(全会一致)

・職員の昇格に伴う人件費の増加分。

陳情の審査

○私立高校に対する大幅公費助成をお願いする陳情書

○不採択とすべきものと決定する。(全会一致)



校庭リンク

視察報告

諏訪広域連合

10月24日・25日 四日
市市・桑名市消防通信指令センター

概要及び運営状況は人口約600万、火災件数232件、救急件数2万3千件、消防職員数612人。

広域の事務組合組織でなく、近隣自治体消防の協議会により、運営されている。

平成19年より新システム導入。
共同運用の効果として
・広域化で構築費用の大幅削減ができた。

・職員の削減、配置変更により、指揮、指揮支援隊の充実、現場活動人員の確保ができた。

・最新システムの導入により火災等への迅速な対応、被害軽減が図れた。

・発信地表示システムの導入により、着信から出動指令までの時間短縮が出

来た。

・車両の動態位置情報にGPS機能付きナビを導入し、直近隊編成より出動車両を選定することができた。

・最新鋭の高機能消防通信指令設備が導入された。

携帯電話が多くなって
いるため、位置情報が確実に取れない場合が出て
いる。特にスマートフォンは受けにくいとの話し
があった。

(小平 雅彦 記)



諏訪南行政事務組合

11月14日・15日、岐阜県三重県のゴミ焼却施設、最終処分場、リサイクルセンター、斎場を視察した。

岐阜県多治見市の最終処分場は、クローズドシステムの最終処分場で、地元自治会のごみ減量化運動の活性化、住民の合意により建設された。

各務原市営斎場瞑想の森は、「静けさと自然に帰る」をコンセプトに白を基調にしたデザイン、無煙化を図り、煙突のない構造になっている。

伊賀南部クリーンセンターは、焼却プラントとリサイクルプラント、環境学習、啓発機能を有したプラザ棟の複合施設となっている。

伊賀上野市、(株)ヤマゼン上野エコセンターは、管理型の最終処分場。平成26年1月に、68万トンの最終処分場をオープンさせる。硬い岩盤の地形、周辺の環

境にも配慮した処分場となっている。特に、水の処理については、真空蒸発濃縮装置を導入し、国、県よりも厳しい基準を設定している。

(宮坂 早苗 記)



有明防災公園 オペレーションルーム

議会運営委員会

11月18日・19日刈羽村、飯綱町を視察した。

24年竣工となる。

飯綱町

刈羽村
現在役場新庁舎建設の特別委員会を設けている。

本会議主義をとっており質疑は同一議題につき3回、一般質問に関しては、メールでの通告は認めず、書面で行っている。議運では、チェックをするが東京電力や、国でしか答弁出来ないような質問もあり対応に苦慮している。

第116号 はらむら議会だより
産業政策課より「ぴあパークとうりんぼ」の計画から竣工にいたるまでの説明を受けた。平成16年検討委員会発足、「農業生産」「加工・物販」「飲食」「集客」の4事業を村民に説明。

参画希望者を募り、運営法人の設立を模索し管理組合方式とする。20年参画希望者により事業提案が出され、評価委員会が提案を審査し、参画事業者が決定。

答弁は半年ごとに文書で経過報告を受けとる。

町の発展につながる「政策提言」を作成するに当たり、議会は「政策サポーター制度」を創設。研究テーマは議会で決定し現在15名の町民が参加。

総務産業常任委員会

11月27日、29日にかけて東京都有明の防災公園、八王子市の第九消防方面消防救助機動部隊、千葉県新日鐵住金(株)君津製鐵所、富津市東日本資源リサイクル(株)を視察した。

また来園者への学習訓練や災害体験ができる。

「東京臨海広域防災公園」
阪神淡路大震災の教訓から有明の丘地区と、川崎市東扇島地区の2ヶ所に「東京湾臨海部基幹的広域防災拠点」として設置。目的は首都直下地震応急対策活動に備え政府の緊急災害現地対策本部の設置。主な応急対策活動は、救助、救急、医療、消火活動、食料・飲料水等の調達、緊急輸送のための活動等。

平常時における防災拠点機能は、関係機関による防災に関する各種訓練を行う。

「東日本資源リサイクル(株)」
事業内容は使用済み自動車、農業用機械等の再資源化事業。徹底した分別解体で部品、素材等に分け、鉄類は製鉄所の設備機能を利用してリサイクル。プラスチック、ガラス、アルミ等も製鉄所のリサイクル機能を活用。リサイクル率は95%以上。再利用できる部品は8千点以上在庫保有。

(小池 利治 記)

「東京臨海広域防災公園」
阪神淡路大震災の教訓から有明の丘地区と、川崎市東扇島地区の2ヶ所に「東京湾臨海部基幹的広域防災拠点」として設置。目的は首都直下地震応急対策活動に備え政府の緊急災害現地対策本部の設置。主な応急対策活動は、救助、救急、医療、消火活動、食料・飲料水等の調達、緊急輸送のための活動等。

「新日鐵住金(株)君津製鐵所」
容器包装プラスチックリサイクル施設を視察。消費者、自治体等から搬送されてきたプラスチック以外の異物選別も含め100%除去する。選別されたプラスチックは造粒物になりほぼ100%有効利用可能。



一般質問 村政を問う

結婚活動推進 事業の概況は

五味 武雄

今年3組が成婚



(質問) 人口動態には大きな変動と構造の変動がある。原村の直近の5年間の大きな変動を見ると、自然増は185人の減。社会増は53人増である。また構造の変動は、婚姻は114、離婚は

43となっている。

ここで気になるのが婚姻率(人口千人に対する値)である。厚労省の平成23年の年報では、全国で5.2、長野県は4.7、原村は2.29で県の半分以下の値。また、諏訪地域の状況は、平成22年の数値で、岡谷市・4.0、諏訪市・5.0、茅野市・4.7、下諏訪町・4.0、富士見町・3.9となっている。

この低い婚姻率を向上させる事が、原村の喫急の課題と考えるが、結婚活動推進事業の組織と現状は。

「村長」原村の婚姻率は低いと以前から感じていた。

これではいけないと強く思い、結婚に対する支援活動をと平成22年7月に結婚活動推進協議会を組織した。

民生児童委員などにより原村結婚相談所を開設し、一生懸命に取り組んでいる。

住宅リフォーム 太陽光発電補助事業の継続を

小池 利治

現行制度のまま3年間延長

相談員の献身的な努力により、成婚した旨の連絡があったのは、今年に入って3組である。また、婚活パーティーでのカップリング率は約10%と高い値である。

(質問) 相談業務は、相談日だけで完結するのではなく、相談の継続性が一番大事だと考える。相談員である民生児童委員の方々の負荷は相当のものと思える。

相談員の有償ボランティアの考えは。

「村長」もう少し状況を見て、検討させて頂きたい。

(その他の質問事項)
○コミュニティスクールについて



(質問) 住宅リフォーム促進事業、太陽光発電システム設置補助事業、この2つの事業は多くの村民に利用され役立っているののでぜひとも継続してもらいたい。

しかし住宅リフォーム促進事業補助金の対象は50万円以上の工事が補助対象になっている。諏訪地方の他市町をみても、もっと低い金額から対象になっている。村民の中からもっと低い金額から対象にして欲しいという声がある。

次に太陽光発電システム設置補助事業について、村内事業者と村外事業者の補助金に差がある。施工業者

は村外の方が3倍近く多い。村内外の事業者区別なく補助事業の対象にすればもっと多くの村民が利用しやすいと思う。

「村長」補助制度については現状のまま3年間延長する。住宅リフォーム補助金は23年度18件。24年度21件。25年度は今までに20件。一定の効果はあった。太陽光発電システム設置補助金については変える気はない。

(質問) ハツ手区内の村道5083号線、中村道の改良工事について、現在菊沢道より南側を工事中だが区内の中村道は、多くの区民が長年願っている道路で、安全、安心のためにも極めて重要な道路なので早期の着工をお願いしたい。

「村長」事業採択する時期については地元関係者と意向確認のため調査を行っている。内容がまとまれば事業採択する方向。26年度以降の採択に向けて検討中。

男女共同参画推進について

宮坂早苗

宮崎県宮崎市宮崎二丁目二番五号 宮崎県議会 議員 宮坂早苗



推進体制を構築していく

〔質問〕男女共同参画社会について、社会全体では、男女間の不平等感をもつ人がまだまだ多い。6市町村の中で、条例・計画とにもないのは原村だけである。

(9) 第116号 はらむら議会だより
「課長」確かに6市町村で原村だけ、計画、条例化もされていない。県下の状況をみても、計画策定50市町村、条例策定28市町村、総

合計画の外部評価でも早期の策定を指摘されている。平成26年度、男女共同参画計画の素案策定作業を行い、関係団体及び住民有志による審議会を立ち上げ計画策定を行いたい。次のステップとして、条例制定につなげていきたい。

〔質問〕空き家、空き地の管理について、6月議会の

質問では、村長は、「何らかの情報は整えていく必要がある」、総務課長は、「何とかして空き家を活用する方法を考えていかなくはない」という答弁をしている。下諏訪町や茅野市では、全棟調査をして、現状を把握し、防災面での安全性、移住促進に結びつけている。管理されていない空き家・空き地にどのように指導や助言を行ない、

若者定住促進を

鮫島和美

従来 of 事業等を 継続する



〔質問〕若者定住促進をどう進めるか。

「村長」若者を惹きつけるような産業が村にはない。現行の移住交流促進事業や若者定住促進補助制度、子どもの医療費無料化、保育料の軽減等の施策の継続によって若者定住促進を図る。

〔質問〕「若者定住促進新築住宅補助交付要綱」によると、その補助制度の対象は「リビングゾーンに新築した住宅」と「保健休養地に、農業後継者が、自分又は二親等以内の親族が20年以上所有している土地に新築した住宅」に限られている。現在、人口増加率が最も高いのは保健休養地内の原山である。この実態をふまえて、保健休養地内の新築も「補助」の対象とするべきではないか。

「村長」「補助」について一部の特例を設けたが、従来の原則はくずさない。

〔質問〕人口が増加している「保健休養地」のインフラ整備も進めるべきではないか。

「村長」「保健休養地」の住宅は広く散らばっているため効率が悪く、予算がかかるが、順次改善する。

〔質問〕各地区公民館、公共施設のトイレ改修の進捗状況は。特に「弓振農村広場」のトイレについて、洋式トイレの設置、男女共用トイレの改修等の要望が出ているので検討を。

「課長」4つの公民館は改修した。他地区についても、要望に応じて予算措置する。弓振の管理棟にトイレが併設されているが、その管理棟自体の老朽化が激しく、傾斜している状態なので改修は不可能である。状況を見ながら検討する。

情報を整えていくのか。

「村長」全棟調査はしていない。住民からの危険だという通報もない。切羽詰まった問題でもないが、少しは改善も必要である。

（その他の質問事項）

○ごみ削減・リサイクルの推進について

○自然エネルギー導入補助について



防犯カメラを設置しては

日達 徳吉

研究して行く



年。部分的整備は進んでい
る。

〔質問〕 村内でも車上荒し
や忍び込み、重機等の盗難
がある。地域の防犯対策推
進が必要と考える。村の防
犯対策の現状は。

〔村長〕 防犯組合が中心に
なっている。主なものは
街頭啓発活動や、防犯指
導をし、小学一年生には防
犯ブザーを貸し出している。

〔質問〕 各自治体によって
は防犯カメラの設置が進み
犯罪抑止と検挙双方に効果
を上げている。防犯カメラ
設置の考えは。

〔村長〕 防犯カメラは犯罪
抑止に効果を上げているが
当村では必要性や設置場所
など検討事項も多いので研
究して行く。

〔質問〕 県道神之原青柳停
車場線の払沢区内道路がせ
まく危険である。現在40km
の速度規制があるが30km規
制になるよう村から県の公
安委員会に申請してもらい
たい。またこの道路の改良
進捗状況は。

〔村長〕 30km規制は地元関
係者から強い要望があれば
できるが現状では難しい。
旧たばこ屋付近の道路改良
を県が採択し工事予定は26



〔質問〕 平成26年度予算重
点施策は。

〔村長〕 第4次原村総合計
画の基本構想に基づき、原
村の特徴である子育て支援
や各種福祉施策は、継続実
施。新規事業では、ソフト
事業として第5次原村総合
計画の策定。老人福祉計画
の策定、ハード事業として
保育所給食棟の建築、保健
センターの実施設計、社会
資本整備総合交付金事業、
第5水源建設等が重点施
策となる。

〔質問〕 ①原村ブランドの
創出は。②エコビレッジの
構築はどのように考えてい
るか。

〔村長〕 ①農業を取り巻く
環境も厳しさを増し、観光
においても入込客数や消費
額が減少する中、2つの産
業が連携し、新たな付加価
値を作りだし、ブランド化

縦の木荘検討委員会の進め方は

木下 貞彦

予見を持たず存続か廃止

することが重要な課題だ。
②太陽光発電は、国の補助
金が今年度で終わる。村は
3年間延長する。現在好評
の電気自動車充電設備も無
料チャージだが有償制に移
ることも考える必要がある。
〔質問〕 ハード事業に対す
る村政運営方針は。
〔村長〕 縦の木荘検討委員
を10人から11人にした理由
は宿泊施設の代表者を入れ
たため。縦の木荘は老朽化
が進んでいる。建て直すか、
やめるか二者択一になる。
委員会には住民アンケート
の結果も参考にしながら今
年度中に結論をもらいたい。
福祉施設整備検討委員会
では、来年度保育所給食棟
建築。2期工事として子育
て支援センターも考えてい
る。保健センター建て替え
については、平屋建てで共
同作業所も考えている。駐

〔質問〕 村指定文化財はど
のように決められていくか。
〔教育長〕 村指定は13カ所
あり、昭和58年以来申請が
出ていない。現在菖蒲沢地
区から申請が出ている。短
時間で即というわけにはい
かない。村の歴史を顕著に
表しているか、価値の高い
ものかを文献、歴史書、聞
き取り、現地調査などを
行い、村文化財調査委員会
の意見を聞き決めていく。

〔質問〕 ①農業を取り巻く
環境も厳しさを増し、観光
においても入込客数や消費
額が減少する中、2つの産
業が連携し、新たな付加価
値を作りだし、ブランド化

中学生議会

10月18日、第15回中学生議会が開催された。

3年生6名が質問に立った。

【質問件名・発言議員名】

○最高速度制限の見直しと減速用の段差の設置について 小松 直寛

○LED照明の補助金について 賛田 彩香

○セロリン号の乗車賃について 竹下 大貴

○原村太陽光発電システム設置補助金交付要綱について 宮坂 綾乃

○村内の無電柱化について 忍田渉太郎

○分かりやすい防災計画について 小林 彩花

中学生議会で、議長を務めた三人より、寄稿していただいたので掲載します。

三年一組 中村 大悟

今回の中学生議会を通して、村会議員の方達が自分

達の質問に真剣に答えて下さる姿や、それに対しての対策や別のやり方などを中学生に対してでもしっかりと説明して下さった姿には、村を本当に良くしたいという気持ちを強く感じました。

中学生からは「セロリン号をワンコインバスにしてほしい」などの意見発表がありました。しかし、それに対して村会議員さんが否定的な言い方ではなく、自分達にもわかるように丁寧に答えて下さったことが心に残りました。また、緊張する中、議員の方達に向かって質問をするというのは初めての機会でしたのでとてもいい経験になりました。村のことで一つのことを考えるとそれから次々に新しい問題が出てくるということがわかり、それらを解決する策を考えられる議員や村に関わる方達は、自分達では考えつかないような議論を行

い対策を考えているのだろうなと思います。

今回の経験はとても貴重なものになりました。原中学校卒業後も、原村を大切にするのを忘れず、将来自分もボランティアなどに参加して村のために活動をしていきたいと思いました。

三年二組 柏原 深大

中学生議会の議長をやってみて、普段できないような貴重な体験をすることができました。僕は三年生になってから生徒総会で全校に会計報告をする機会がありました。しかし、生徒総会とは比べものにならない空気が張りつめた雰囲気だったからです。なので、議会が始まったときはとても緊張しました。しかし、大きなミスもなく終えることができました。

各クラス代表の六人は、今の原村に対して、自分たちがより住みやすくなるようにするために、自分の意見を提案していました。どの提案も素晴らしい内容だったように感じました。一

つでも、提案された意見が実現していただけるというなど思いました。しかし、今の原村をよりよいものにしていくには、ただ自分の思っていることを言うだけでなく、村議会に出る話を聞いたり、村の行事に自分から積極的に参加していくことが大切だと思いました。

僕は、「広報はら」をよく読んで、村内の人が言っていることを聞いて、原村をよりよくするために何をすればいいかということを考えていきたいと思えます。

三年三組 清水 莉歩

私は中学生議会で議長という立場で参加させていだいた。代表生徒として事前準備を念入りに行い、自分以外の議長二人よりもよい良い司会進行ができるようにしたいという目標を決めて臨んだ。

議場に入ると、生徒総会などの生徒会での集会とは全く違う空気、ものすごくはりつめた空気に圧倒されてしまった。緊張感が収ま

らぬまま、議会は始まった。まずは別室で傍聴した。この瞬間を刻み、将来への期待を込めた素晴らしい質疑応答を必死にメモを取った。立派な質問で、私にはとてもできないと驚き、感心した。

いよいよ後半、私が議長を務める番が来た。緊張感がさらに増した。ほんの数秒机に手を置いただけで汗で机がぐっしょりと濡れてしまった。原稿は用意されていたが、原稿に無いとつさに使うセリフも臨機応変に言うて進めることができたので嬉しかった。

全体を通して二つのことが学べた。第一に地方自治の仕組みが実体験で良く分かったこと。もう一つは全体を見て判断を下すことの大変さ。どちらもこれから生活に生かせる事だと思ふので、何かに行き詰まった時などに思い出したいと思う。そして議長という立場に立ってたくさんの事を吸収できた事が何よりも嬉しい一日であった。

議会日誌

10月	2日	全員協議会	24~25日	諏訪広域連合議 会行政視察	
3日	東京都檜原村議会議 任委員会合同視察研 修来村	29日	長野県町村議会議長 会定期総会	4日	議会運営委員会
5日	諏訪地区森林づくり の集い	30日	国民健康保険運営協 議会委員研修会	5日	原村福祉施設整備備 検討委員会
7日	諏訪中央病院組合議 会全員協議会	11月	原村表彰式	9~18日	第4回原村議会議 定例会
10日	日本禁煙友愛会茅野 市・原村支部合同ゲ ートボール大会	1日	原村五者懇談会	10日	全員協議会
11日	全員協議会	6日	原村商工業振興審議 会	15日	長野県縦断駅伝競走 優勝祝賀会
16日	議会広報編集委員会 全員協議会	8日	諏訪テクノレイクサ イド地域センター地 域協議会	16日	原村活性化協議会高 天酒造視察
17日	諏訪圏工業メッセ2 013開会式	11日	議会報告・懇談会	21日	富士見高原病院新病 棟増築工事竣工式
18日	原村下水道審議会	13日	議会報告・懇談会	23日	こひつじ幼稚園降誕 祭
19日	第15回中学生議会議 富士見高原病院祭	14~15日	諏訪南行政事務 組合行政視察	25日	議会広報編集委員会
20日	救護施設八ヶ岳寮祭 男女共同参画地域づ くり講座	18日	諏訪中央病院組合議 会臨時会		
23日	諏訪郡町村議会議員 研修会	18~19日	議会運営委員会 視察研修		
		21~22日	南諏衛生施設組 合議会行政視察		
		27~29日	総務産業常任委 員会視察研修		
		12月			
		2日	民生委員・児童委員 委嘱状伝達式		

議会報告・懇談会

11月11日・13日の両日、議会報告・懇談会を2会場（上里公民館、柳沢公民館）で開催した。議会活動の報告と、村民の皆様からの意見、要望をお聞きする目的で、平成19年から行っている。

平成24年度会計決算、主要事業の概要について、総務産業常任委員長、社会文教常任委員長から報告した。

懇談会で出された意見、要望等は各常任委員会の審査の中で調査検討するとともに議会活動に活かしていく。

議長交際費

(平成25年1月から12月まで) 単位：円

期日	金額	内容
1月12日	6,000	公益社団法人諏訪圏青年会議所新年会 会費
1月18日	5,000	諏訪消防協会新年会 祝儀
2月14日	15,000	諏訪地方議会正副議長懇談会 会費
2月17日	5,000	南信地区郵便局長会通常総会 祝儀
4月26日	3,000	日本禁煙友愛会原支部定期総会 祝儀
7月9日	3,000	核兵器廃絶国民平和大行進 激励金
7月23日	3,000	アイリス・精明学園・八ヶ岳寮合同納涼祭 祝儀
12月15日	5,000	長野県縦断駅伝競走優勝祝賀会 会費
12月21日	5,000	富士見高原病院新病棟増築工事竣工式 祝儀

議会の傍聴に
お出かけください
次回(平成26年3月)の定例会は
3月3日(月)開会の予定です。

お問い合わせは、議会事務局に(0266-79-7951)

編集後記

安倍内閣による3本の矢政策、国によるPPP交渉の行方、消費税増税、コメ政策の転換5年後減反廃止を決定。日本の零細農家や食料自給はどうなるのか？

原村は新年度の予算査定も終了し、今年は第5次総合計画の策定準備、保育所給食棟建設、保健センターの建て替え、老朽化した椏の木荘の継続か廃止か結論を出す年だ。自立を選択した村は将来どういう村を望むのか。知恵を出す年でもある。

この便りが届くころは、華やかにソチ五輪が開催されていることでしょう。

(木下 貞彦 記)

編集委員会

委員長	長谷川 寛
副委員長	矢島 昌彦
委員	小林庄三郎
同	小池 利治
同	木下 貞彦
同	五味 武雄